

# 救急救命マニュアル

～倒れている人を見つけてから救急隊の方に引き継ぐまでの一連の流れ～

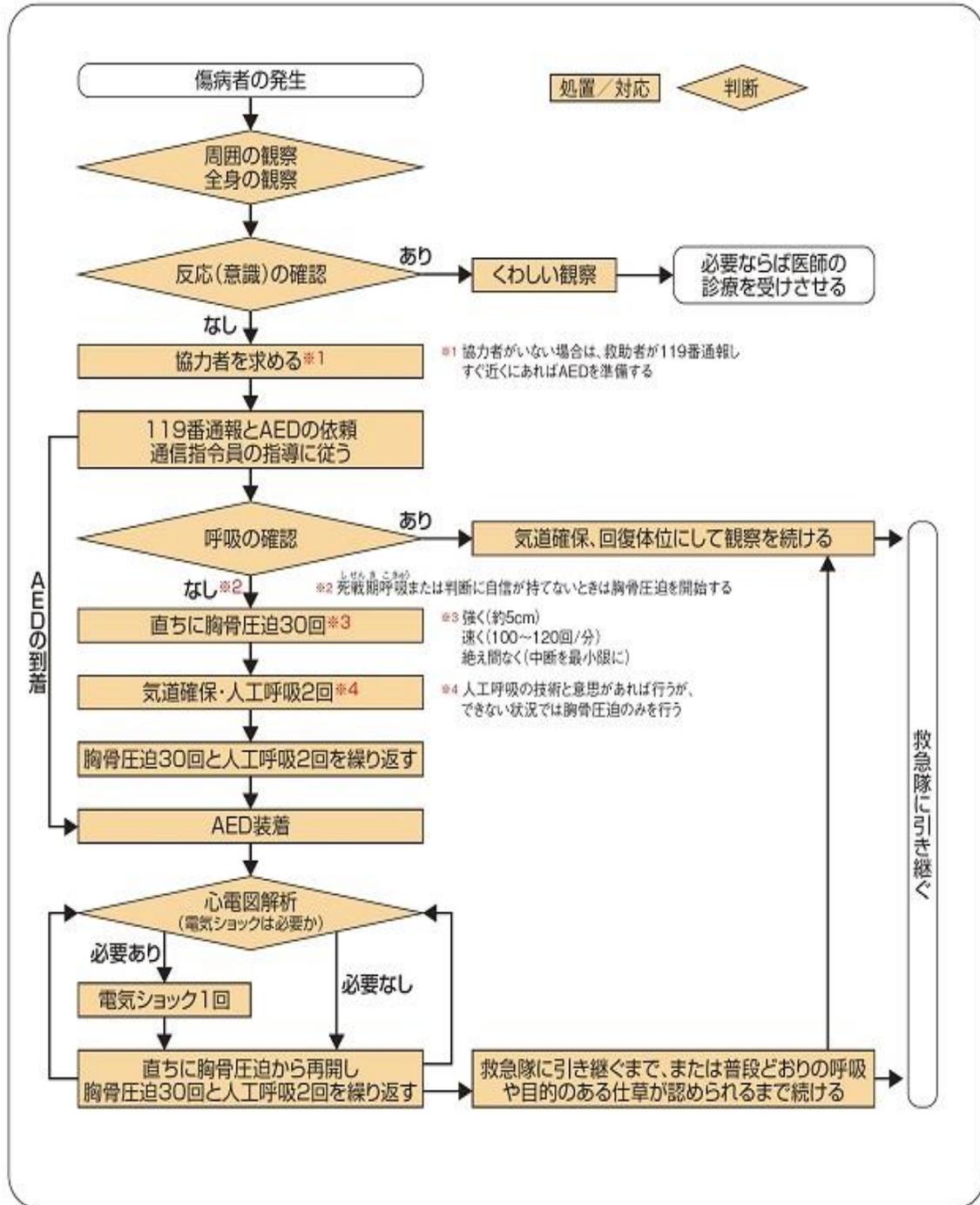


図1 日本赤十字社 一次救命処置の手順

※気道確保、回復体位、胸骨、死戦期呼吸については下記を参照してください。

※特に大事な点

◎救急救命行為を行う上で、**危険のない場所であるかどうか**周囲を確認する。

◎協力者を求める際は、**119番通報・AEDの手配・救急救命のための応援**を呼んでもらうことを願います。

◎倒れている人の**出血の有無**を確認し、出血がある場合は協力者に傷口を押さえてもらいながら処置を行う。

◎胸骨圧迫は正しい方法でなければ、意味がない。

◎**人工呼吸がうまくできないときは、人工呼吸を行わなくてよい。**

(胸骨圧迫を絶えず続けてください!)

## ■ 胸骨圧迫を行う際に留意する点

- 肘を伸ばして、体重をかける。
- 圧迫は胸部が5 cmほど沈むくらい強く行う。
- 胸部を押すだけでなく、しっかりと元に戻す。  
(しっかりと戻さなければ、胸骨圧迫の効果はありません。)
- 適切なリズム（1分間に100～120回のペース）で絶えずに行う。
- 疲れたら無理をせず、協力者にタイミングを合わせて代わってもらう。

## ■ AEDの使い方

1. 電源をただちに入れる。
2. 付属のパッドをパッドに描かれている絵の位置に貼る。(応援がいれば、パッドを貼っている間にも胸骨圧迫をしてもらう。)
3. 電気ショックは必要かAEDが解析してくれる。
4. 電気ショックが必要な場合、周囲の人に離れるように指示した後にショックボタンを押す。
5. 電気ショックが終わったらすぐに、胸骨圧迫を再開する。

■ 大学内の AED 設置場所



図 2 AED 設置場所マップ 津島地区救急対応について 岡山大学

岡山大学農学部周辺では、

- 農学部 2号館東出入口
- 山陽圏フィールド科学センター

にあります。

■ 語句説明

- 気道確保

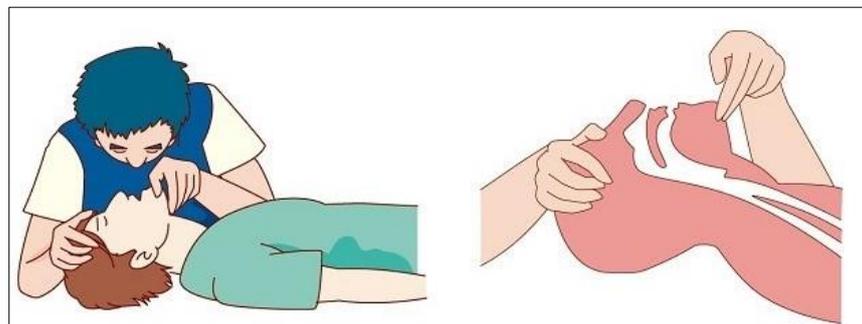


図 3 日本赤十字社 気道確保より

一方の手を傷病者の顔に、他方の手を人差し指と中指を下あごの先に当て、下あごを引き上げるようにして、頭部を後方に傾ける。

※頸椎損傷（首の損傷）が疑われる場合は、特に注意して静かに行う。

- ・ **回復体位**

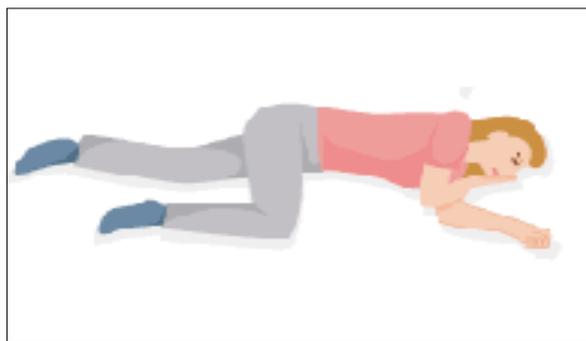


図 4 日本赤十字社 傷病者の安静より

下あごを前に出し、両肘を曲げ、上側の膝を約90°曲げ、傷病者が後ろに倒れないようにする。この体位によって、舌の付け根がのどをふさぐことや吐物による窒息を防ぐことができる。

- ・ **胸骨圧迫を行う部位**

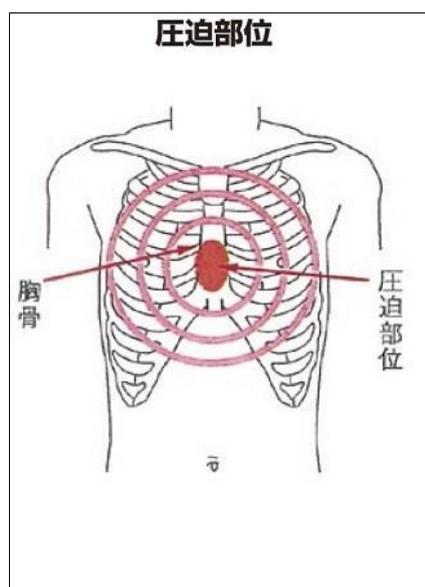


図 5 日本赤十字社 胸骨圧迫より

- ・ **死戦期呼吸**

人が死ぬ直前に行うとされる異常な呼吸。

あごや鼻だけが動き、胸部が膨らまず、あえぐような呼吸がみられる。

死戦期呼吸の様子がわかる動画はこちらを参照お願いします。

<https://www.youtube.com/watch?v=bFkcALCIZUM>

## ■ 出典

- ・ 津島地区救急対応について - 岡山大学  
<https://www.okayama-u.ac.jp/user/hokekan/AEDH30.5.pdf>
- ・ 日本赤十字社 一次救命の手順  
<http://www.jrc.or.jp/activity/study/safety/process/index.html>
- ・ 日本赤十字社 心肺蘇生  
<http://www.jrc.or.jp/activity/study/safety/airway/>
- ・ 日本赤十字社 傷病者の安静  
<http://www.jrc.or.jp/activity/study/safety/rest/index.html>